

大阪狭山市の観光大使「さやま未来プランナー」の

# 自転車 de GO! GO!



クルマで走ってちゃ見逃してしまう、そんな大阪狭山市の魅力スポットをナビゲート!

## 塞の神の祠(茱萸木)

狭山ニュータウンを東西に貫く陶器山通りの東の端あたり、大きな坂の途中で公園が見えてきます。その奥に祠があり、道から離れてその前に回ってみると、祠の隣に「塞の神の由来」という文章が刻まれた石碑があります。塞の神とは、さまざまな災いなどから人々を守るために祀られる日本古来の神です。その歴史は古く、茱萸木では江戸時代に祀られたそうです。その後縁結びや子どもの守り神などとしても地元の人たちから親しまれ、そのまわりは人々の憩いの場となってきました。しかし、狭山ニュータウンの開発が行われたころ、元あった山が削られるなどして、この祠も三十年ほど前に現在の場所に移転したそうです。今では周囲は住宅地となり、大きな変化を遂げましたが、今でもこの祠が地域を見守り続けています。公園で一息つきながらその歴史を想像してみると、少し不思議な気分になりました。皆さんの住んでいる近くの祠などにも、おもしろい由来が隠されているかもしれませんね。

さやま未来プランナー 泉谷 駿

